

デジタルスキル講座【いちき串木野市】

個別事業費	4,636千円
交付金額	3,477千円

地域の実情と課題

- R4女性雇用に関する市民意識調査で「賃金格差」「昇進給等の差」「能力評価の不当性」に3割から5割が格差を感じている。
- 令和2年国勢調査の女性就業者割合は「医療・福祉」「製造業」「卸売・小売業」で6割を占め、労働集約型で低賃金の形態が多く、非正規雇用者の割合が高くなる、構造的な課題が見られる。
- 男性が産育休を取得した企業への補助金や、保育施設の無償化など、子育て世代が働きやすい環境を整えるなど、出産・育児による女性のキャリア形成鈍化の抑止を目指しているが、労働集約型の労働環境が多く、正規雇用者としての就労環境も少ないことから、女性が自分らしいキャリアを描くことが難しい状況にある。

事業の特徴

- 柔軟な働き方を可能とするデジタル、リモートワーク等のスキルを身に付けるデジタルスキル講座を開催する。
- 同時に、市内企業へヒアリングを行い、業務デジタル化や外注業務の切り出し等をサポートし、デジタルスキルを身に付けた女性が働きたくなる職種や職場を生み出す。
- 最終的に、デジタルワークのリテラシーを高めた女性と、高単価で柔軟な働き方も可能なデジタルワークとのマッチングを行い、正規雇用者や自身が納得できるワークライフバランスで働ける女性の増加を図る。

事業の効果

- 講座と市内各企業へのヒアリングと業務切り出しを同時進行し、講座終了から実業務受注までをシームレスにサポートした。
- それにより、受講者も企業側も、デジタル業務という未経験分野における成功体験につながり、受講者満足度も市内企業からの評価も非常に高いものとなった。
- 講座実施に終始せず「地域で働く機会につなげる仕組み」を実践。
- また、「子育て世代の女性」という近しいパーソナルが集まる場として、交友関係を広げたり、悩みを共有したりといった相乗効果も生み出し、地域コミュニティの形成にも貢献している。

目的・目標

- スキル習得だけに留まらず、ヒアリングを行い業務を切り出した企業から、実際に業務受注するまでを実現する。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	受講者中、就労または業務受注につながった者の割合	80%	85%	100%

連携団体

- いちき串木野市 ○株式会社Asian Bridge(委託事業者)
- いちき串木野商工会議所

今後の課題

- 企業側の業務ニーズの掘り起こし
デジタルワーカーへの外注経験が無く、業務外注の提案に消極的な企業も少なくない。スキルを持つ人材が増えても、業務が無いことにはマッチングが難しく、企業側も柔軟な人材活用による効率化に後れを取る恐れがある。令和7年度の本事業の他企業の委託事例や、より詳細なヒアリングによる更なる業務切り出しの提案を徹底する。
- スキル習得後の実務機会の拡充
上述のことから、市内企業だけでなく、市外企業や都心企業等からの受注や受講生自らが営業を行い、業務を受託していけるような仕組みを目指す必要がある。
- 受講生のレベル差に応じたフォロー体制
受講生の中でも既存スキルに差があり、一部の受講生は難しい、一部の受講生は易しすぎる、といった状況が発生したため、講座を基礎と応用などでレベル分けをすることで、より一人ひとりに寄り添った指導とスキルアップが目指せる体制とする必要がある。

事業の概要

■ デジタルスキル講座

- 日 時: 令和7年10月から11月にかけて計5回
- 対象者: 20代~40代の女性
- 場 所: MINATOよりあいオフィス (市内コワーキングスペース)
- 参加者: 24名
- 内 容: 令和7年10月から2ヶ月間に渡り、リモートワークや関連するデジタルツールの使用方法、SNS投稿運用などを学ぶ、計5回のデジタルスキル 講座を開催



■ 企業ヒアリング

- 日 時: 令和7年6月(契約後)から随時実施
- 対象者: 市内企業
- 場 所: 市内企業
- 社 数: 20社
- 内 容: 市内企業を訪問し、本事業についての趣旨説明等を実施。同時に、デジタルワーカーへの外注が可能な業務の切り出しを提案、受注へ繋げる取り組み。訪問企業の多くが、デジタルワーカーへの外注や業務委託の経験が無かったであったが、本事業を機に取り組みを始めた企業もあり、デジタルスキル講座後は、講座受講者のほとんどが実際の業務受注に繋がった。デジタルスキル講座と両輪で推進することにより、市内企業のDX化や効率化へも好影響となっており、市内企業にデジタル活用の流れを生み出すきっかけとなった。

STEP1

デジタルスキル講座 & 企業ヒアリング

- 講座は10月から11月にかけて計5回の実施。Googleツール等の基本的な扱い方から、ZoomやCanvaといったソフトの使用方法。プレゼン資料作成のグループワーク、SNS投稿作成等を実施。
- 先行及び同時期で市内企業への訪問ヒアリングを開始

STEP2

デジタル業務抽出 & マッチングサポート

- 訪問ヒアリングを実施した企業のうち、外注や業務委託に意欲的だった企業に対して、デジタル業務抽出の提案及びそのサポートを実施。
- 同時に講座受講者のレベルを考慮し、抽出した業務と受講者のマッチングをサポート。

STEP3

受注業務のサポート & 納品

- 企業から受注できた受講者の作業について、内容の添削から納品までのプロセスをサポート。
- 今後の自力での業務受注へ向けた活動等もレクチャー。

目的・目標

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	受講者中、就労または業務受注につながった者の割合	80%	85%	100%